

# 事業団だより



## 新年を迎えて

理事長 加藤 幹夫

暖かい三が日で家族団らんされた方も多かったでしょう。また、正月休みのなく、勤務された方も多かったでしょう。

年頭早々、スキーバス事故の報道があり、将来を期待されていた多くの青年が亡くなられたとのこと。心から哀悼の意を表するとともに、多くの面で進歩している我が国ですから、二度とこのようなことが起こらないよう願わざるをえません。

一方で、事業団をご利用になられている方々が、安心して安全に過ごせる社会になることも願っております。それには、地域の方々やボランティアの方々のお力を借りて、我々職員が利用者の方々に楽しく安全安心な日々をお過ごしいただけるよう努力していかなければなりません。そこで、ご家族を含め、ご利用者の方々に事業団の施設を利用してよかったと感じていただけるように改めて努力したいと思います。

種々、解決しなければならない面もありますが、職員一人一人の努力に期待することが多く、皆様の努力が利用者に喜んでいただけるよう、お願いする次第であります。

本年がみなさまにとって従来に増して、より良い年になるよう願っております。



# 赤羽西福祉工房 工房まつり



10月24日(土)、第21回赤西工房まつりが晴天の中開催されました。

ふれあいゲームコーナーでは、空気砲的当てやスーパーボールすくい、ボーリングゲームを行い100名以上の方々が、またランチョンマットへのステンシル体験コーナーでは、50名以上の方が参加し楽しんでくれました。

販売コーナーでは、自主生産品のビーズホルダーや鍋敷き、フラワーポット、マグネットなどの新製品を販売、陶芸やステンシルなど人気従来品を含めて売り切れ続出で大盛況でした。



アトラクションでは昨年に引き続き、順天学園高校ダンス部の方々が来てくれました。楽しいダンスを目の当たりにして、じっと見ている人、大声を出して応援している人など様々でしたが、会場の一体感が高まった瞬間でもありました。

当日は工房放送局も開局しDJにもチャレンジ！ゲームコーナーを紹介したり、販売商品を説明したりと場内を大いに盛り上げてくれました。

今年は過去最高500名近くのお客様にお越しいただき大・大成功で終える事が出来ました。



## <北区障害者作品展>

去る12月5日(土)～6日(日)に障害者福祉センターで行われた「北区障害者作品展」に出店&参加をしました。

会場ではネイルアートや指圧などを楽しんだり、普段中々会えない友人知人との再会にて話が盛り上がっていたりと、思い思いの時間を楽しんでいました。







# 赤羽西福祉作業所

## 祭 赤西祭 祭



10月24日(土)第35回赤西祭が開催されました。天候に恵まれ300名以上の来場者がありました。昼休みに輪飾り作りや装飾用の絵を描き、1週間前から作業所入りの壁面に手作りの立て看板を設置。忙しい作業の合間をぬって準備を行いました。

内容も「作業実演」、「喫茶」に加えて、今年は新たに「縁日コーナー」を作り、保護者による「模擬店」と「バザー」、他施設による生產品販売と合わせて祭りに華を添えました。



「作業実演」では、1班は来場者と対面になってカルタ折り、2班は作業機の間隔を広めに取り鉛筆の3本袋詰め、12本箱入れを行いました。作業を近くで見やすく、質問がしやすいように、各班でレイアウトや装飾を一工夫。お客様にすぐ隣りまで来て作業を見て頂く、良い機会となりました。

お揃いの法被に身を包んだ利用者、職員、ボランティアの盛大な呼び声。1班の「縁日コーナー」は、自分で作れるカラフルな『わたがし』、お値段以上のお菓子がぎっしり詰まった『ひもくじ』、3種類の味が選べる『ポップコーン』いずれも人気は上々。



2班が担当した「喫茶もみじ」。銀杏ともみじのモチーフでディスプレイ。エプロンにもみじの飾りを付けお客様を迎えました。一日中ほぼ満席が続き、裏方担当のボランティアさん、接客担当の利用者、職員はケーキと飲み物の準備や片付けに大忙しでした。

各販売コーナーは午後には売り切れとなりました。閉会の間近まで絶えず来場者があり、大盛況の中で行事を終えることが出来ました。

ご協力いただいた保護者、ボランティア、他施設の皆様、お越しいただいた地域の皆様ありがとうございました。



## 健康体操



12月9日(水)レクリエーション活動で『健康体操』を行いました。北区の『健康サポート教室』から講師をお迎えし休憩を挟んで約1時間のプログラム。

「身体が痛いのは、いつも使っていない部位を動かして(身体が)喜んでくれる証拠です。」こんな講師の言葉に励まされて何とか前半を終了。「やっと休憩。」と一休みする利用者、職員に対し、「今までは準備運動。本番はこれからですよ。」との講師の一言。後半は軽快な音楽に合わせて肩、背中、足、腰、お腹の筋肉を存分に伸ばしたり動かしたり。始めは寒さで縮こまり重たかった身体も、終わりに近づく頃にはポカポカ温かくなり、音楽の効果か動きも軽やかに。利用者、職員ともに運動不足を実感し、身体を動かすことの大切さと楽しさを感じる機会となりました。



「来年もやって欲しい」との意見が早速出ています。次回は少し身体が軽くなっていることを期待したいものです。

# 王子福祉作業所



## あすか祭



王子福祉作業所では、毎年恒例のあすか祭を昨年11月14日(土)に開催しました。雨模様のあいにくの天気でしたが、地域の皆様、区・議会・多施設の関係者など、約300の方が来場してくれました。



今回のあすか祭は、利用者が主体的にお客様を「おもてなし」することをモットーに、受付や喫茶コーナーでは、「いらっしゃいませ〜」と呼び込みをしたり、飲み物を渡したりと接客に励んでいました。

ゲームコーナーやお菓子をゲッツコーナーでは「ストラックアウト」や「ペットボトル釣り」などを行い、何度もチャレンジする人がいて行列ができるほどの人気でした。

アトラクションでは、順天高校ダンス部のみなさんに、当作業所に初めて出演していただき、キレイのよいダンスを披露していただきました。続いて、王子福祉作業所学芸クラブがAKB48のミュージックダンスなどを踊り、最後に順天高校ダンス部とのコラボが実現し、会場全体が一体となって一緒に踊りだすなど、大いに盛り上がりました。



## 年忘れ会



12月28日(月)、年末の大掃除を行い、昼食後、年忘れ会を開催しました。

1年を振り返って合同運動会や宿泊行事に関するクイズや、作業と業者を結びつけるゲーム、ペットボトル魚釣りゲームなどを班対抗で競い合いました。普段おとなしい利用者さんが大活躍する場面もあり、年忘れにふさわしい楽しいひとときを過ごしました。



## あとかき



年が明けて、2016年を迎えました。今年は申年です。申(さる)には「病や厄が去る(さる)」といういわれがあるそうです。病気や厄に見舞われることのない一年にしたいですね。まだまだ寒い日が続きますので、体調には気をつけてお過ごしください。